

## 「省エネ」に関する意識調査

～ 6月は環境月間！「省エネ」に関する意識調査を実施 ～

## 省エネを意識し実際に行動している人は約7割と多数 省エネを正しく理解している“省エネ暮らし優等生”はたった2割！

約9割の人が省エネは“家計”を意識していることが判明  
男女ともに約7割が省エネ行動をしている異性に“好感を持つ”と回答

消費生活アドバイザー和田由貴氏監修「省エネ理解度テスト」公開  
～ 自宅で無理なく続けられる正しい省エネ対策4つのポイントを紹介 ～

6月の1ヶ月間は「環境月間」、6月5日は「環境の日\*」です。そのため、6月は関係府省庁や地方公共団体などにより、全国で環境に関する様々な行事が行われる月間となっています。

この度、熱で暮らしを豊かにするリンナイ株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：内藤 弘康）では、省エネの目的や行動、理解度などを探るべく、全国20～40代の男女計987名を対象に、「省エネ」に関する意識調査を実施しました。

\*昭和47年6月5日からスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して「世界環境デー」が定められました。日本では、「環境の日」と呼ばれています。

### 主な調査結果

- ✓ 普段の暮らしの中で省エネを意識している人は約7割！省エネ行動は年代とともに高まっていることが判明
- ✓ 省エネは「家計（節約）」を意識している人が約9割！省エネ対策1位は「水を流しっぱなしにしない」
- ✓ 東日本大震災発生から6年経った現在でも省エネ対策を継続している人は7割以上いることが判明
- ✓ 省エネを正しく理解している“省エネ暮らし優等生”はたった2割という結果に
- ✓ 非省エネな行動は「暖房冷房を付けたままで寝る」が上位に
- ✓ 省エネについて関心を持ち、行動している異性に好感を持つ人は男女ともに約7割
- ✓ 省エネ設備導入には「初期費用が高そう」と懸念している人が多いことが判明



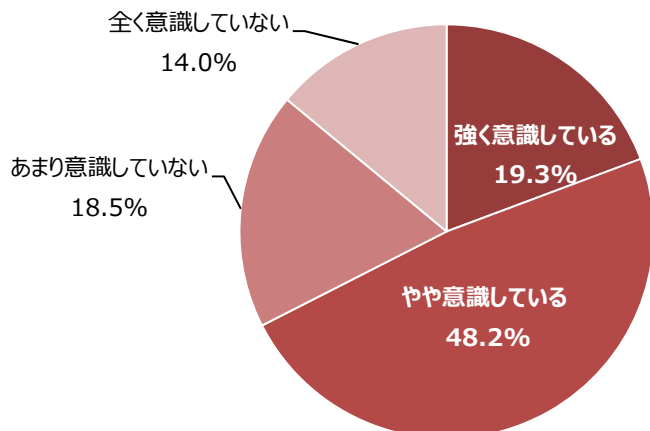
【本件に関するお問い合わせ先】

リンナイ株式会社 広報部 TEL: 03-3471-7533

## 普段の暮らしの中で省エネを意識している人は約7割 実際に省エネ行動をしている人は年代とともに高まっていることが判明！

普段の暮らし（家の中）で省エネをどの程度意識しているのかを調査したところ、「強く意識している」19.3%、「やや意識している」48.2%と約7割近くの人が意識していることがわかりました。

Q1. あなたは、普段の暮らし（家の中）で省エネをどの程度意識していますか？（単一回答 N=987）

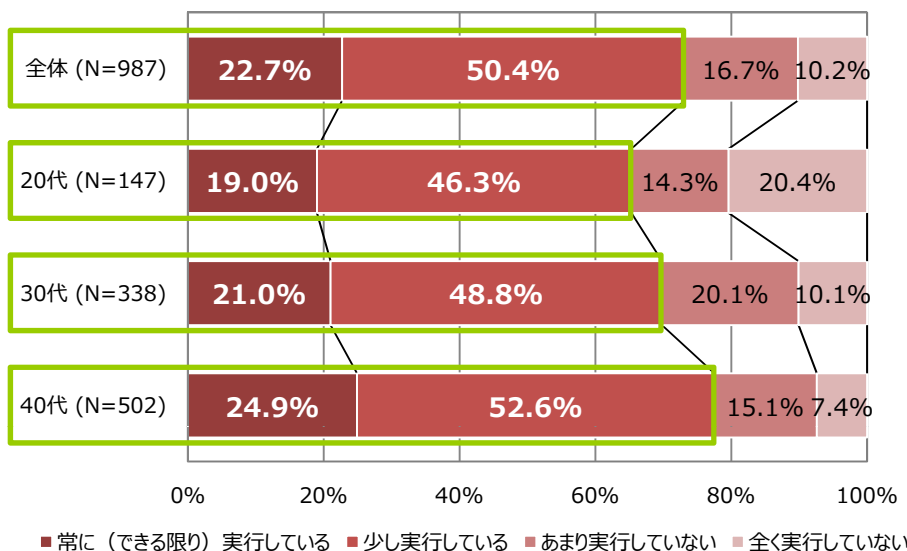


意識している  
約7割

日頃の生活の中で、省エネを意識するだけでなく、実際に行動しているかどうか調査したところ、「常に（できる限り）実行している」、「実行している」と回答した人が73.1%という結果となり、約7割の人が省エネを行っていることがわかりました。年代別にみると、20代が65.3%、30代が69.8%、40代が77.5%という結果となり、年代が上がるにつれて、省エネを行っている人も増えていることがわかりました。また、エリア別では大きな差はみられませんが、「四国地方」が79.8%と最も高い結果となりました。

Q2. あなたは普段、省エネを意識するだけでなく実際に行動していますか？（単一回答 N=987）

【年代別データ】



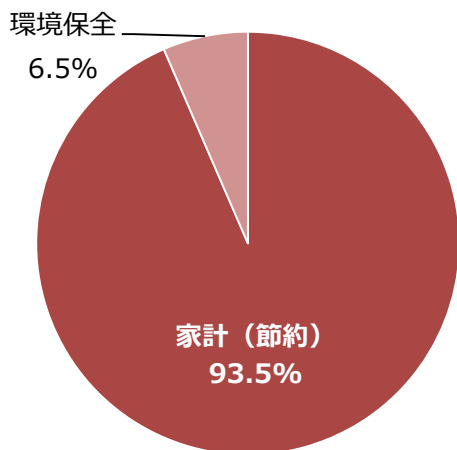
【エリア別ランキングデータ】

|    |          |       |
|----|----------|-------|
| 1位 | 四国地方     | 79.8% |
| 2位 | 関東地方     | 76.9% |
| 3位 | 北海道・東北地方 | 74.1% |
| 4位 | 中部地方     | 71.4% |
| 5位 | 九州地方     | 71.4% |
| 6位 | 近畿地方     | 70.7% |
| 7位 | 中国地方     | 69.5% |

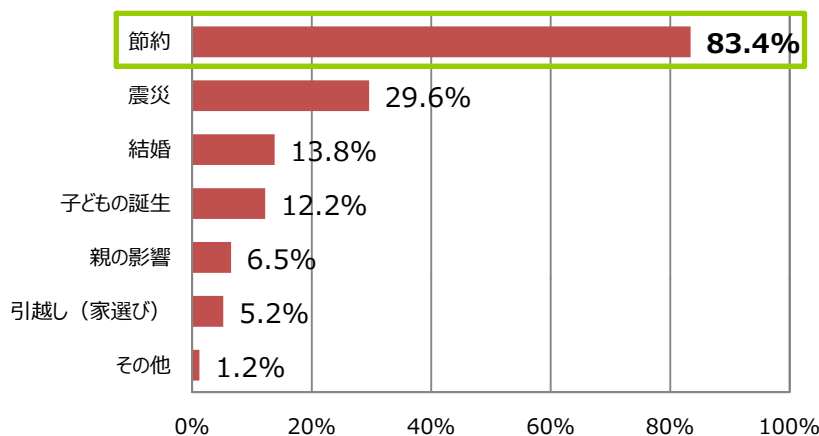
## 省エネは「家計(節約)」を意識して省エネをしている人が約9割！ 省エネ対策は1位「水を流しっぱなしにしない」、2位「照明をこまめに消す」

ご自身にとっての「省エネ」に関して調査したところ、家計（節約）を意識している人が全体の約9割と多数いることがわかりました。一方で環境保全を意識している人は1割以下という結果となりました。省エネを意識するようになったきっかけとしては、「節約」と回答した人が8割以上と最も多く、続いて「震災」が約3割という結果となり、2011年の東日本大震災が省エネ意識に影響を与えていることがわかりました。続いて、13.8%が「結婚」、12.2%が「子どもの誕生」と回答しており、生活環境の変化とも関係していることがわかりました。

Q3. あなたにとっての省エネは、家計（節約）を意識したものか、環境保全を意識したものか、どちらの方がより強い意識としてありますか？  
(単一回答 N=849\*)



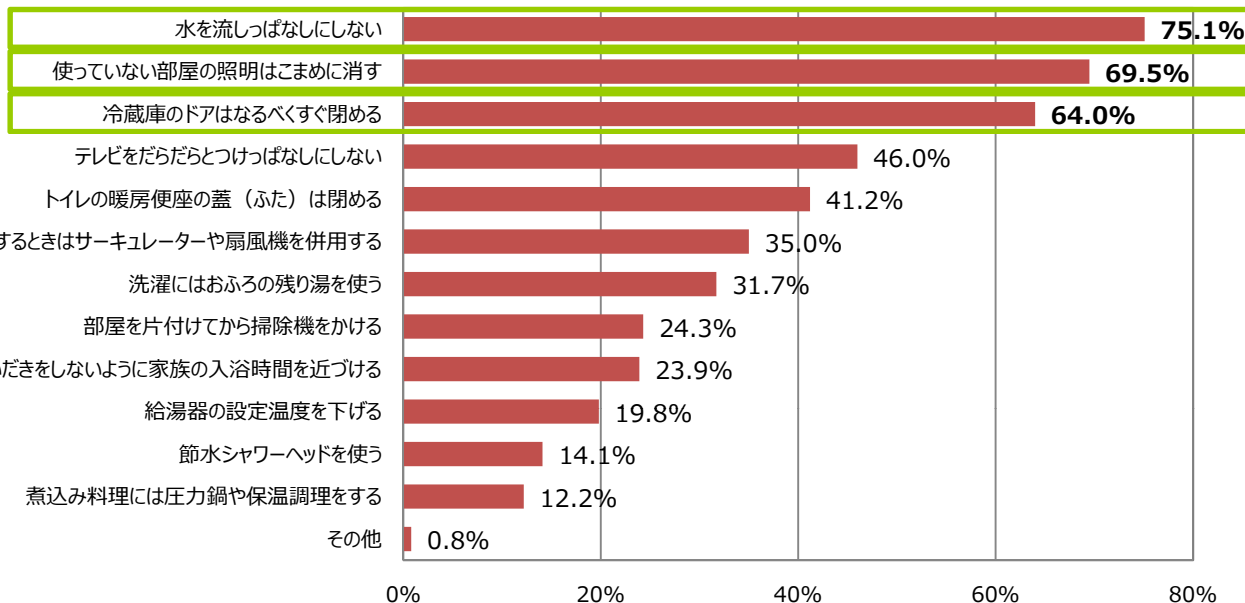
Q4. あなたが省エネを意識するようになったきっかけは何ですか？  
(複数回答 N=849\*)



\*Q1「全く意識していない」人を除く

また、省エネのために具体的に日頃どのような対策を行っているのかを調査したところ、「水を流しっぱなしにしない」を選んだ人が75.1%と最も多い結果となりました。続いて、「使っていない部屋の照明はこまめに消す」が69.5%、「冷蔵庫のドアはなるべくすぐ閉める」が64%という結果となり、手軽に行うことのできる対策が上位に挙がっています。

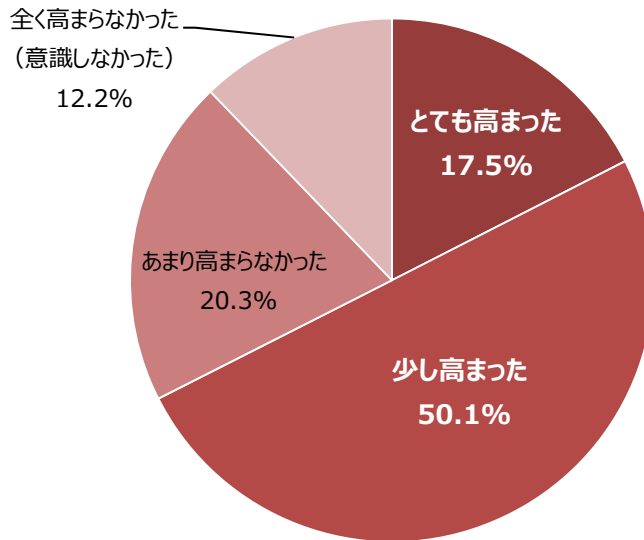
Q5. あなたが省エネのために具体的にしている対策はなんですか？ 実際に行っている項目を選択してください。(複数回答 N=886\*)



## 東日本大震災発生から6年経った現在でも 省エネ対策を継続している人は7割以上いることが判明

2011年3月11日に発生した東日本大震災ならびに東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、エネルギー（特に電力）不足により節電・省エネ対策が一般家庭にも求められました。当時、省エネ意識がどの程度高まったかを聞いたところ、7割近くの人が省エネ意識が高まったと回答しました。

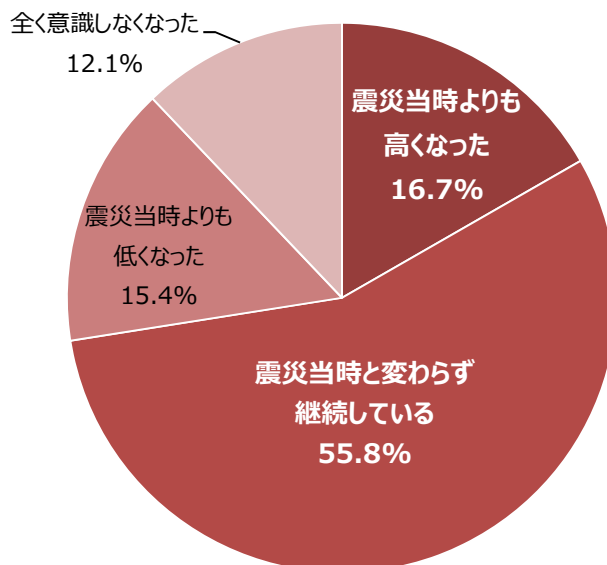
Q6. 2011年3月11日に起きた東日本大震災以降、節電・省エネ対策の必要性が一般家庭に求められました。当時、あなたの世帯（一人暮らしの方も同居人がいる方も）では省エネ意識がどの程度高まりましたか？（単一回答 N=987）



東日本大震災以降の省エネ意識  
高まった  
約7割

続けて、東日本大震災発生より約6年経過した現在の省エネ意識を調査したところ、震災当時より変わらず継続していると回答した人は5割以上いるという結果となりました。また、震災当時よりも省エネ意識が高くなったと回答した人は約2割近くいることがわかりました。

Q7. 2011年（6年前）の震災発生当時に比べて、現在の省エネ意識はどのような状況ですか？（単一回答 N=987）



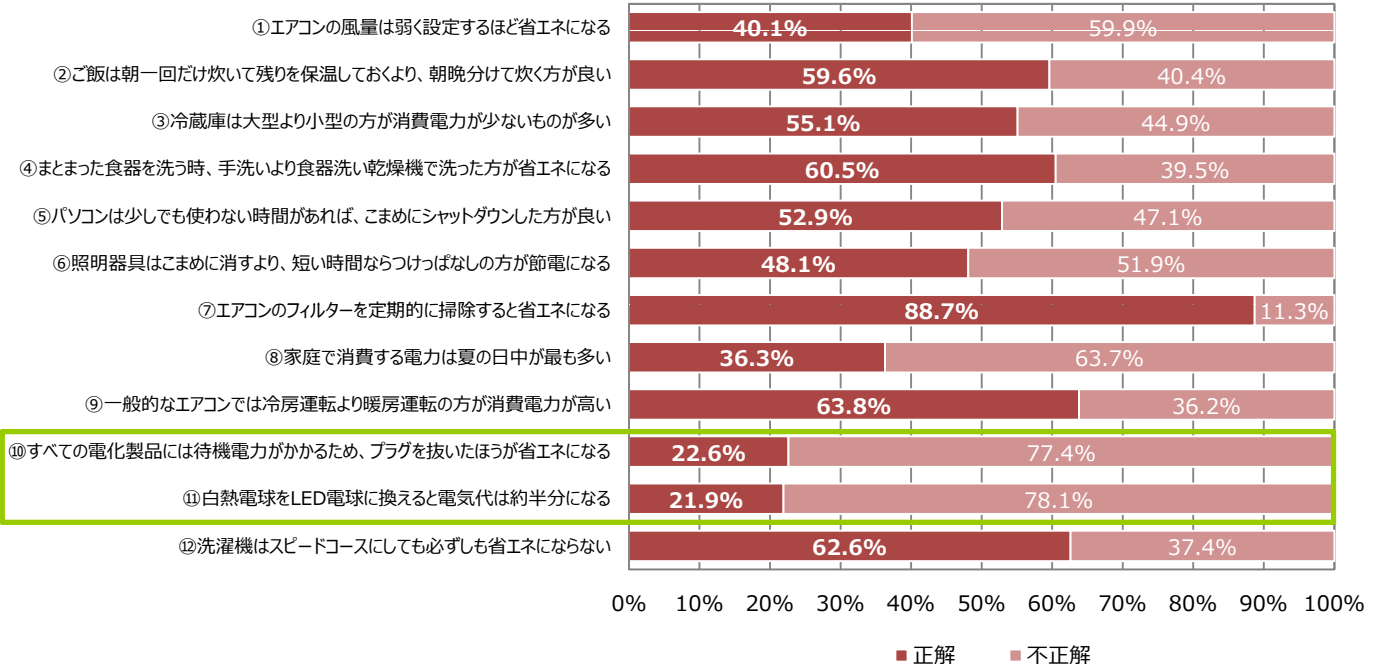
東日本大震災以降の省エネ意識  
「高くなった」「変わらず継続している」  
7割以上

# 消費生活アドバイザー和田先生監修「省エネ理解度テスト」 省エネを正しく理解している“省エネ暮らし優等生”はたった2割という結果に

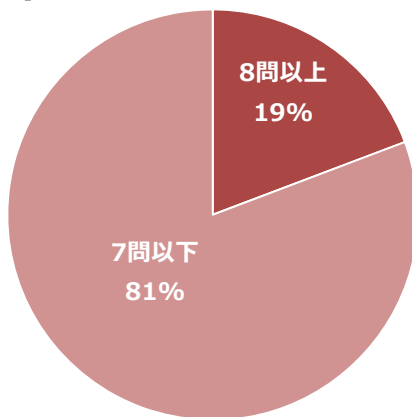
省エネを正しく理解できているかどうかを探るべく、消費生活アドバイザー和田由貴氏に監修いただき、全12問の「省エネ理解度テスト」を作成しました。12点満点のテストの平均点は6.1点となり、8点以上獲得できた“省エネ暮らし優等生”は全体の約2割しかないということがわかりました。

中でも⑩「すべての電化製品には待機電力がかかるため、プラグを抜いたほうが省エネになる」や⑪「白熱電球をLED電球に換えると電気代は約半分になる」(※どちらも不正解)の正答率は約2割と低い結果となりました。

Q8. 以下それぞれの項目について「省エネになるかどうか、省エネの知識として正しいかどうか」という観点で「そう思う」「そう思わない」をお選びください。  
(単一回答 N=987)



【Q8 省エネ理解度判定】



8問以上正解の“省エネ暮らし優等生”  
約2割

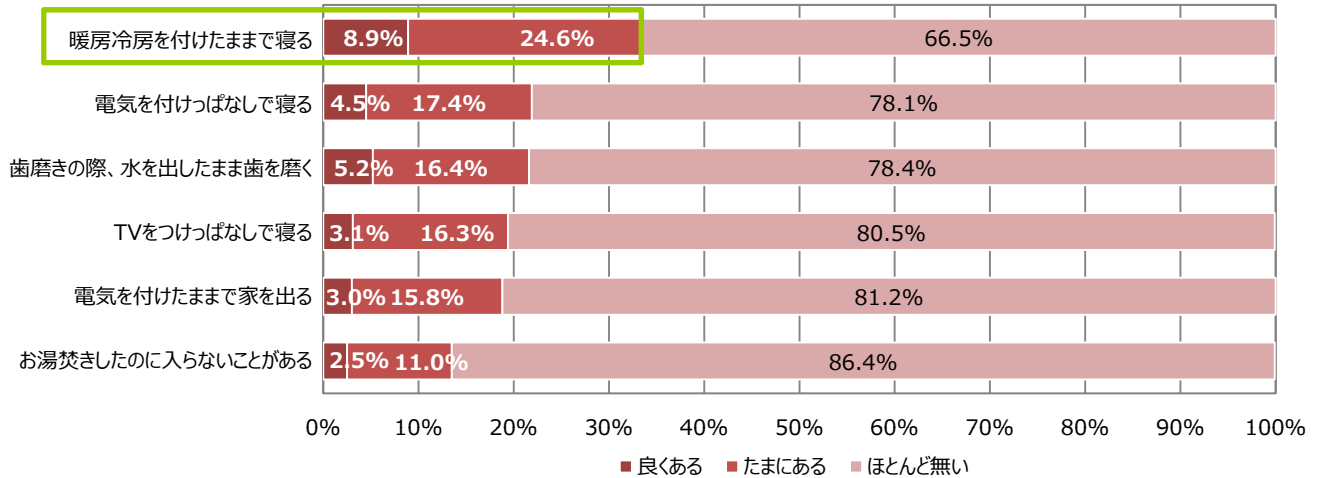
## 【和田先生コメント】

LED電球が省エネなのは知っているが、どのくらい節電になるのかわからない。待機電力というものは知っているが、どのような場合にかかるのかわからない。これらのように、まるっきりの無知ではないが正しい情報はよく知らないという方が多いことがわかります。省エネや節約の情報は雑誌やテレビなど身近なところにあります。昔聞いた古い情報をそのまま記憶していたり、なんとなくの聞きかじりで間違った認識をしていたりということが多くはないでしょうか。

## 非省エネな行動としては「暖房冷房を付けたままで寝る」が上位に 約6割の人が自身を「節約家と思う」と回答！

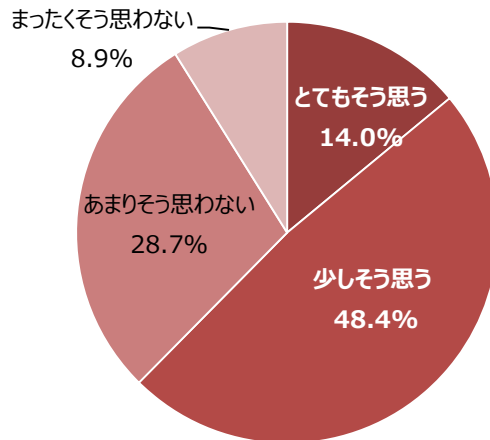
普段の生活の中でやってしまう非省エネな行動について調査したところ、「暖房冷房を付けたままで寝る」と回答した人が33.5%と最も多い結果となりました。

Q9. あなたは生活の中で、以下のようなことはありますか？（各単一回答 N=987）



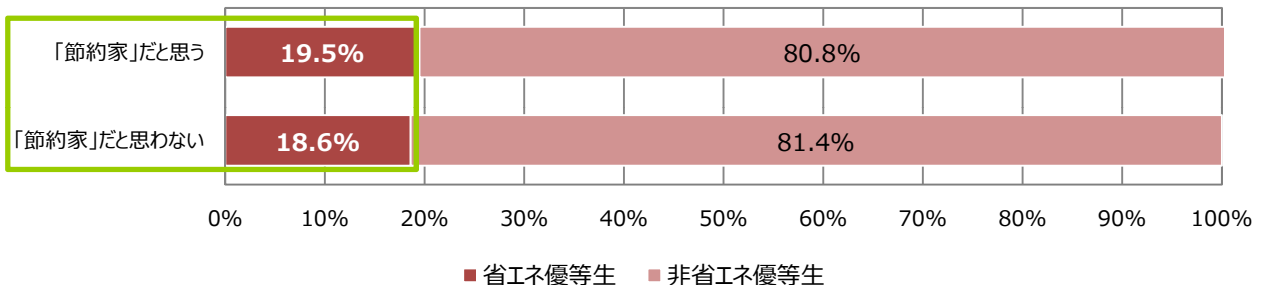
自分自身が「節約家」かどうかを聞いたところ、「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答した人は62.4%という結果となりました。節約家・非節約家別に省エネ理解度をみると、どちらも省エネに関して正しく理解しているのは約2割という結果となり、節約家かどうかと省エネの理解度には相関がみられないということがわかりました。

Q10. あなたは、自分が「節約家」だと思いますか？（単一回答 N=987）



「節約家」だと思う  
約6割

【省エネ理解度 節約家・非節約家別データ】

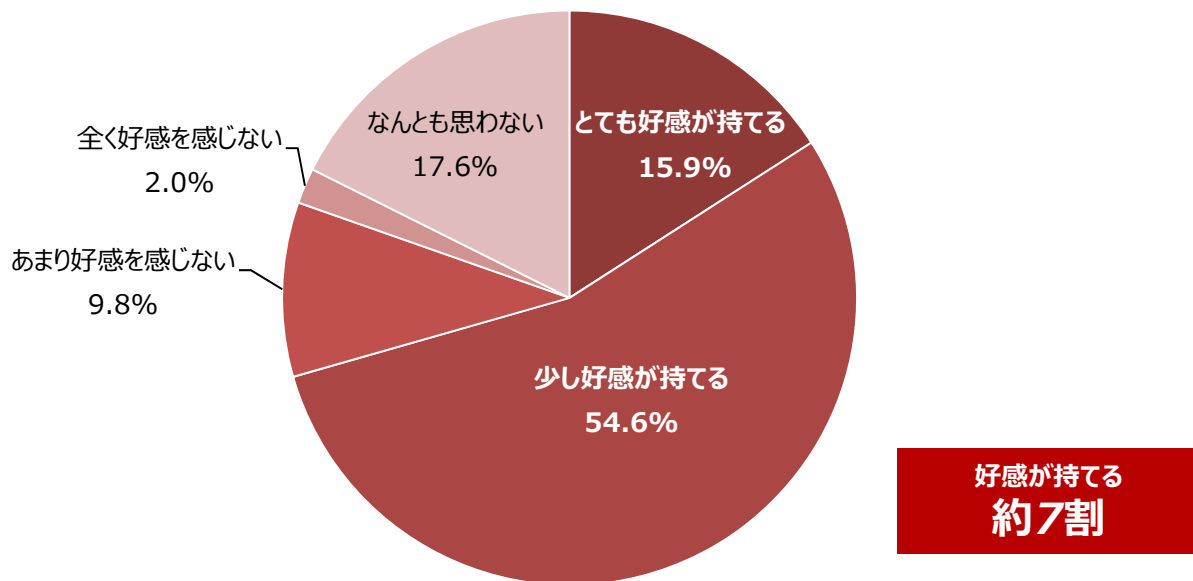


## 好感度調査！省エネ行動をしている人はモテる！？

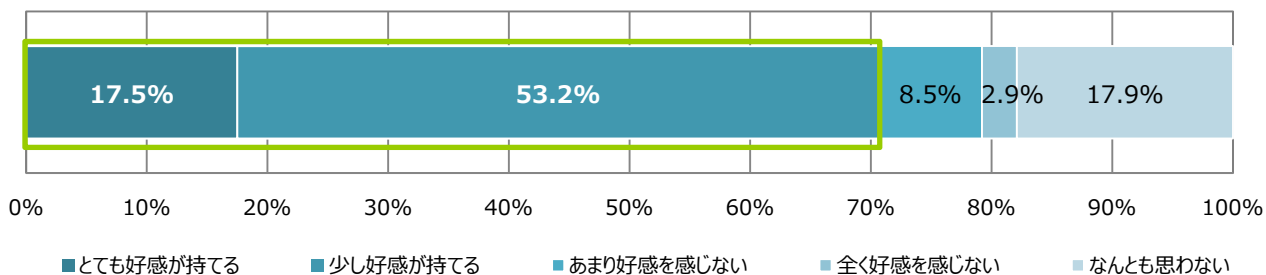
### 省エネに関心を持ち、行動している異性に好感を持つ人は男女ともに約7割

省エネについて関心を持ち、行動している異性に対して好感を持つかどうかを調査したところ、約7割の人が「好感が持てる」と回答しました。男女別にみても大きな差はなく、省エネ行動をしている人は異性からの好感度が高いということがわかりました。

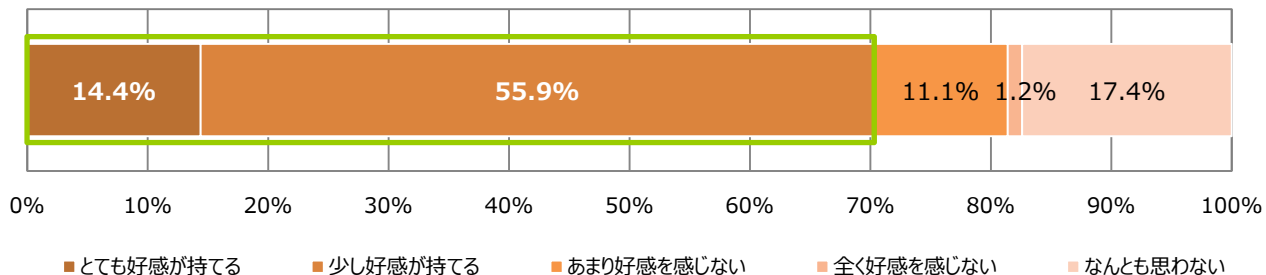
Q11. 省エネについて関心を持ち、行動している異性についてどのように感じますか？（単一回答 N=987）



【男性 N=481】



【女性 N=506】

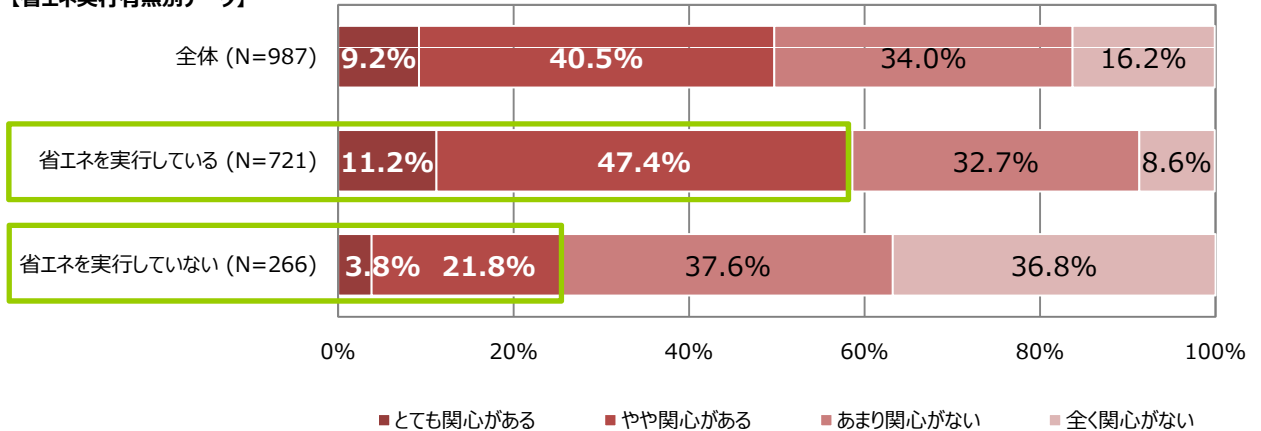


## エネルギー自由化スタート！約半数が興味があると回答！ 省エネを実行している人ほどエネルギー自由化に関する関心も高いという結果に

2016年に電力、2017年に都市ガス小売り自由化が開始されたことを受け、どの程度関心があるかを調査したところ、約半数の人が関心があると回答しました。省エネ対策の実行有無別にみると、実行している人では58.6%、実行していない人では25.6%という結果となり、省エネに関心を持ち、対策を行っている人ほど、エネルギー自由化に対する関心も高いことがわかりました。

Q12. 2016年4月に電力の小売りが自由化、2017年4月には都市ガスの小売りが自由化となりました。あなたはこのことについて、どの程度関心がありますか？（単一回答 N=987）

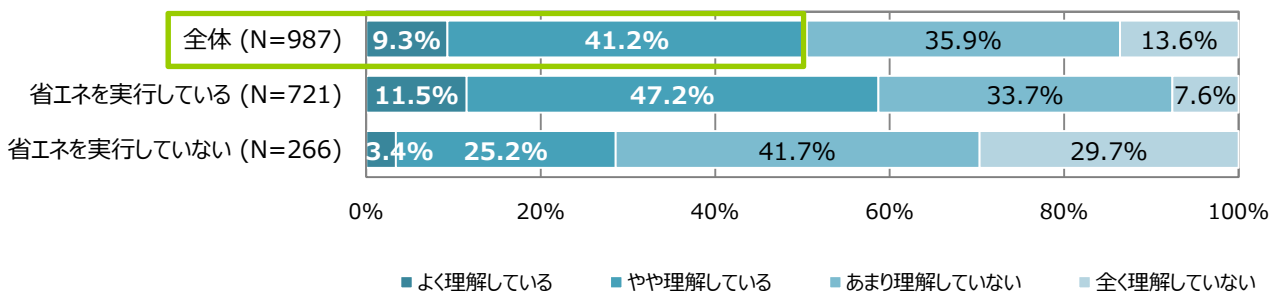
### 【省エネ実行有無別データ】



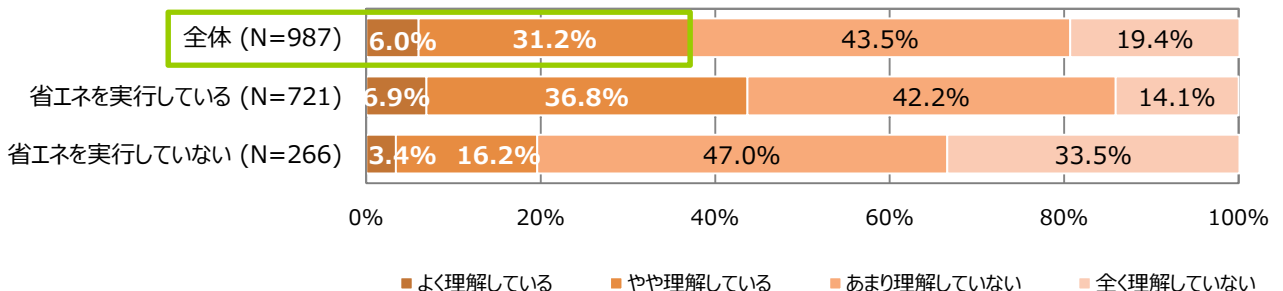
また、エネルギー自由化に関してどれくらい理解できているかを調査したところ、電力自由化に関しては半数以上が理解しているのに対し、都市ガス自由化に関して理解できている人は4割以下という結果になりました。

Q13. あなたは電力の小売自由化、都市ガスの小売自由化について、その内容をどの程度理解していますか？（単一回答 N=987）

### 【電力の小売自由化】



### 【都市ガスの小売自由化】

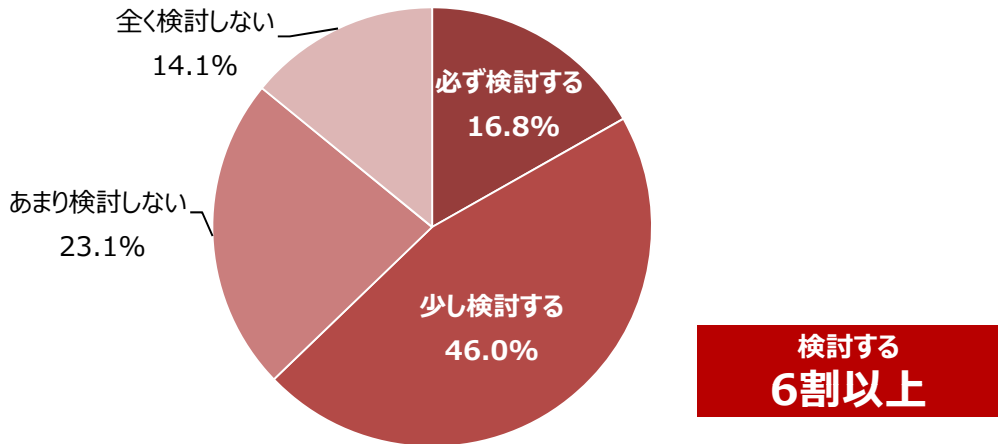




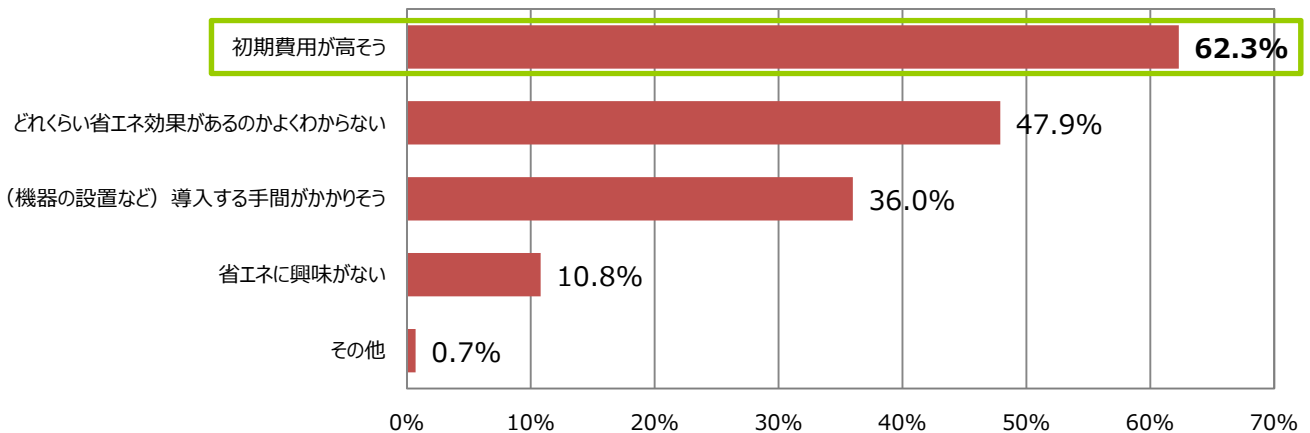
## 6割以上の人が省エネ設備の導入を今後検討したいと回答 導入には「初期費用が高そう」と懸念している人が多いことが判明

家を建てる時やリフォームの際に省エネ設備の導入を検討するかどうかを調査したところ、「検討する」と回答した人が6割以上という結果となりました。一方で、省エネ設備の導入にあたり障壁に思う点や気になる点、購入をためらう理由を聞いたところ、6割以上の方が「初期費用」を気にしていることがわかりました。

Q14. 今後、あなたが家を建てる時やリフォームの際に、省エネ設備（発電機や給湯器など）の導入をどの程度検討しますか？  
※現在のお住まいから引越しをすと仮定して、お答えください。（単一回答 N=987）



Q15. 省エネ設備（発電機や給湯器など）の導入にあたって障壁（ハードル）になる点や気になる点、購入をためらう理由は何ですか？  
（複数回答 N=987）



### 【和田先生コメント】

調査結果では費用面の懸念が一番多いようですが、根本的に省エネ設備がどれくらいの省エネ効果があるのか分からないというのが問題であると思います。省エネ設備を導入することでランニングコストがどれくらい抑えられるのかを知れば、漠然と初期費用に不安を感じることもなくなります。省エネ理解度テスト同様、省エネ設備についても正しい知識や理解がないまま「なんとなく高そう」という感覚を持ってしまっているようです。

### 【調査概要】

調査時期：2017年4月26日（水）・27日（木）  
実施方法：インターネット調査  
調査対象：20～40代 計987名  
調査エリア：47都道府県（各21名）

※本リリースの調査結果・グラフをご利用いただく際は、必ず【リンナイ調べ】とご明記ください。

省エネに関して正しく理解できているかどうかを確認する簡易テストを、消費生活アドバイザーの和田先生に作成いただきました。暑さが本格化し、夏場のエネルギー消費が盛んになる前にご自身の省エネ理解度をチェックし、省エネ対策を見直してはいかがでしょうか。

## 省エネ理解度 簡易テスト

消費生活アドバイザー 和田由貴氏監修

|                                           | 正解                       | 不正解                      |
|-------------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. エアコンの風量は弱く設定するほど省エネになる                 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. ご飯は朝一回だけ炊いて残りを保温しておくより、朝晩分けて炊く方が良い     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 冷蔵庫は大型より小型の方が消費電力が少ないものが多い             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. まとまった食器を洗う時、手洗いより食器洗い乾燥機で洗った方が省エネになる   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. パソコンは少しでも使わない時間があれば、こまめにシャットダウンした方が良い  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. 照明器具はこまめに消すより、短い時間ならつけっぱなしの方が節電になる     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7. エアコンのフィルターを定期的に掃除すると省エネになる             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8. 家庭で消費する電力は夏の日中が最も多い                    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9. 一般的なエアコンでは冷房運転より暖房運転の方が消費電力が高い         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10. すべての電化製品には待機電力がかかるため、プラグを抜いたほうが省エネになる | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11. 白熱電球をLED電球に換えると電気代は約半分になる             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12. 洗濯機はスピードコースにしても必ずしも省エネにならない           | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

**8個以上の正解で省エネを理解できている「省エネ優等生」!**

## 省エネ理解度 簡易テスト<解説>

|                                                                                                                                                              | 正解                                  | 不正解                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <b>1. エアコンの風量は弱く設定するほど省エネになる</b><br>[解説] 風量は「自動」に設定しておくのが一番省エネになります。風量を弱風や微風に設定しておく、室温が設定温度に至るまでに時間がかかり、逆に多くの電力を消費してしまふことがあります。                              | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>2. ご飯は朝一回だけ炊いて残りを保温しておくより、朝晩分けて炊く方が良い</b><br>[解説] 炊飯器の保温は約10時間で1回炊飯をするのと同じくらいの電力を使用するため、朝晩であれば炊き直したほうが節電になります。まとめて炊く場合は、保温を切って食べる時に電子レンジで温め直したほうが節電になります。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| <b>3. 冷蔵庫は大型より小型の方が消費電力が少ないものが多い</b><br>[解説] 小型の冷蔵庫の場合、大きさや価格面などの兼ね合いでインバーターなどの搭載が難しいため、省エネ性能に乏しい機種が多いです。一般的に400L以上の冷蔵庫が省エネ性能が優れた機種が多くなっています。                | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>4. まとまった食器を洗う時、手洗いより食器洗い乾燥機で洗った方が省エネになる</b><br>[解説] 手洗いと比較すると、食器洗い乾燥機の使用水量は約1/9程度になり、大幅に少なくなります。食器洗い乾燥機でも電気やガスといったエネルギーを使用しますが、それを考慮しても、半分から1/3程度になります。   | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| <b>5. パソコンは少しでも使わない時間があれば、こまめにシャットダウンした方が良い</b><br>[解説] パソコンは起動時に多くの電力を消費するため、こまめにシャットダウンを繰り返すと逆に無駄になります。短い時間であればシャットダウンするよりスリープや休止状態に。目安は1時間45分以内です。        | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>6. 照明器具はこまめに消すより、短い時間ならつけっぱなしの方が節電になる</b><br>[解説] 短い時間でも消した方が節電になります。蛍光灯などの点灯時には若干消費電力が高くなりますが、何分間ものつけっぱなしに相当するほどの電力はかかっています。                             | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>7. エアコンのフィルターを定期的に掃除すると省エネになる</b><br>[解説] フィルターが目詰まりしていると風量が落ち、余計な電力を消費します。フィルター掃除は2週間に1回以上が目安です。                                                         | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| <b>8. 家庭で消費する電力は夏の日中が最も多い</b><br>[解説] 店舗や事業所などを含む電力需要全体をみると、夏の日中が最も多くなりますが、家庭だけをみると夏も冬も在宅率の高い夕方から夜にかけてがピークになります。                                             | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>9. 一般的なエアコンでは冷房運転より暖房運転の方が消費電力が高い</b><br>[解説] 機種にもよりますが、暖房時の方が消費電力が高くなります。また、暖房時の方が気温と設定温度の温度差が大きいため、期間消費電力量は暖房の方が圧倒的に多くなります。                             | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |
| <b>10. すべての電化製品には待機電力がかかるため、プラグを抜いたほうが省エネになる</b><br>[解説] 家電製品の中には待機電力が全くかからないものもあります。また、旧製品では多くの待機電力がかかっていたものでも、最新の製品では待機電力がほとんどかからないものも増えています。              | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>11. 白熱電球をLED電球に換えると電気代は約半分になる</b><br>[解説] LED電球の種類にもよりますが、同等の明るさの白熱電球と比較すると消費電力は1/6～1/8程度になりますので、電気代も1/6～1/8程度になります。                                      | <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <b>12. 洗濯機はスピードコースにしても必ずしも省エネにならない</b><br>[解説] スピードコースにした時にすぎが注水すぎになる機種もあり、普通のコースと比べ多くの水を使用してしまうことがあります。そのため運転時間短縮で電力の使用は若干減っても、必ずしも省エネになるとは言えません。           | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            |

環境保全のため、節約のためにも日常生活の中で省エネを実行したいものです。自宅で無理なく続けられる正しい省エネ対策として気をつけたい4つのポイントを和田先生に教えていただきました。

## 自宅で無理なく続けられる正しい省エネ対策 4つのポイント

省エネをするならば、できるだけ大きな効果が得られるように実践したいもの。ですが、生活すべてに気を使って省エネをするのは、疲れてしまい長続きしない方も多いと思います。省エネをするには効率の良さも大切です。

### 1. 使用割合の多い部分から節電対策

家庭内で使用する電力の用途別内訳をみると、冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコンの割合が多く、これら4つの家電が約半分を占めています。手間をかけずに簡単に節電したいならば、割合の多いものに対して手軽にできる節電対策をすることが大切です。

冷蔵庫は壁から少し離して設置する、照明は消し忘れが気になる場所はセンサー付きのものを使用する、テレビは輝度を少し下げる、エアコンは風量を自動に設定し、フラップの向きも冷房時は平行、暖房時は下向きというように、最初の位置や設定を省エネできる状態にしましょう。

### 2. キーワードは「熱」、家電製品は状況に合わせて使い分ける

家庭における用途別エネルギー消費の内訳をみると、給湯が約28%、暖房が約23%となっており、約半分を占めていることがわかります。（\*資源エネルギー庁「平成27年度エネルギーに関する年次報告」（エネルギー白書）家庭部門のエネルギー消費の動向参照）

家電製品においては、電気ポットや炊飯器、温水洗浄便座など、熱を発生させるもの、特に長時間保温をする機能がある家電は消費電力量がかなりかさみます。「熱」を発生させることは非常に多くのエネルギーを使用するので。

節水も、湯を使用する場所を特に意識した方が大きな省エネ効果があります。暖房は、エアコンなどの対流式、ストーブなどの輻射式、ホットカーペットなどの伝導式、それぞれの特徴をよく知り、状況に合わせた使い分けが必要です。保温家電はできるだけ保温時間を短くし、省エネモードなどがある機種はそれを上手に活用しましょう。

### 3. 日々変化する省エネの情報をアップデート

昔は省エネと言われていた行為も、現在ではほとんど効果がないというものも多くあります。例えばテレビの場合、コンセントからプラグをこまめに抜くのが節電に有効と言われていましたが、近年のテレビの待機電力は非常に少なくなっており、こまめに抜いても年間で数十円程度しかかわらないということもあります。

省エネの常識は変化しているので、新しい情報を知ること大切です。

### 4. 省エネ行動をソフト面とハード面の両面からとらえる

家電製品やガス機器など住宅設備の省エネ技術は日進月歩です。こまめにスイッチを切るといった日々の省エネ行動を「ソフト面」とすると、製品自体を見直す「ハード面」の省エネは必ず考慮する必要があります。同時に、製品の買い換えなどの際には、価格や機能だけではなく、省エネ性能を十分考慮したモノ選びを意識しましょう。

#### 消費生活アドバイザー 和田 由貴 氏

消費生活アドバイザー、家電製品アドバイザー、食生活アドバイザーなど、幅広く暮らしや家事の専門家として多方面で活動。環境カウンセラーや省エネルギー普及指導員でもあり、環境問題にも精通する。



## 電気×ガスのハイブリッド給湯・暖房システム ECO ONE

### 給湯も温水式暖房の使用においても、ECO ONE1台でまかなえる

ECO ONEは電気とガスのハイブリッドで高い省エネ性を実現するため、ランニングコストの面でも安心して温水式暖房を使用できます。



ECO ONE



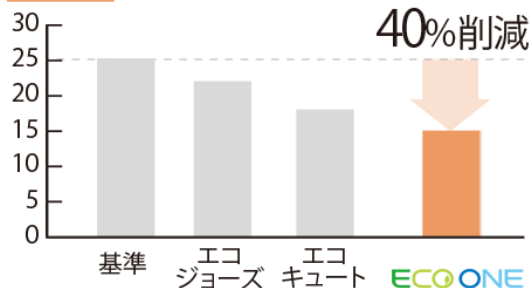
### ■ 給湯一次エネルギー消費量を大幅に削減

省エネ設備の評価基準となる給湯一次エネルギー消費削減率において、業界最高レベルの削減を実現しました。ハイブリッド給湯・暖房システムの先駆者として蓄積したノウハウを活かし、設計を大幅に見直すことで圧倒的な高効率を達成。ゼロエネルギーハウス（ZEH）を達成するために、ECO ONEが大きく貢献します。

#### 一次エネルギーとは

石炭や石油、天然ガスなど自然界に存在しているままの形状で得られるエネルギーのこと。一次エネルギー効率は最終エネルギー消費をまかなうために利用されたエネルギー量を、投入された一次エネルギーの量に換算した効率です。

#### 6地域

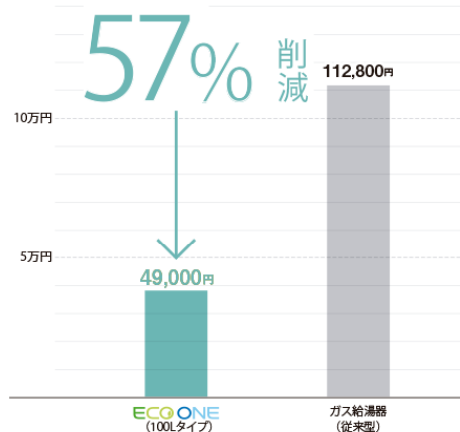


●地域は平成25年省エネルギー基準における地域区分 ●延床面積：120㎡  
基準となる給湯器は、3～4地域：石油給湯器（モード熱効率81.3%）、5～7地域：ガス給湯器（モード熱効率78.2%）削減率は基準となる給湯器に対する割合 ●エコキュート（JIS効率3.3）、エコジョーズ（モード熱効率92.5%）

### ■ 給湯光熱費がお得に

電気とガスのエネルギーをハイブリッドすることで高い省エネ性を実現したECO ONEは、従来のガス給湯器と比べて給湯コストを6万円以上削減。石油給湯器や電気温水器と比べても給湯ランニングコストを削減することができます。

[年間給湯ランニングコスト比較]\*



※年間給湯+おしだし負荷18.3GJ、LPガス料金：従来ガスふる給湯器、ハイブリッド給湯暖房システムECO ONE（100Lタイプ）ともに通期：450円/m³ 電気料金25.6円/kWh（基本料金を除く平均単価）[リンナイ㈱調べ 2016年6月現在]